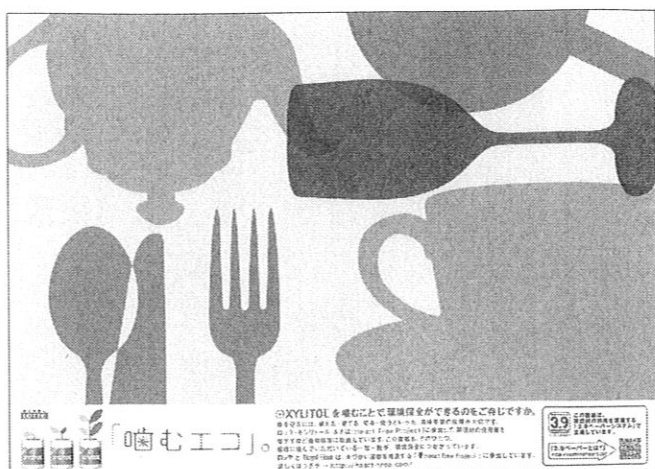


# 間伐材資源の活用促進でコラボ



ハートツリー（東京都港区）は、植樹活動や森林保全を促進するために立ち上げた「ハートツリー・プロジェクト」とロケット「キシリトールガム」との連携で、「啣むエコ」と名付けた環境活動を行っているが、その一環としてレストランチェーンを展開するロイヤルホールディングスとのコラボレーションを展開する。

現在日本の森は「植える」「育てる」、「切る」「使う」といった循環ができておらず、森が荒れる原因となっている。そうしたことから今回は特に「使う」に焦点を当て、資源である間伐材の活用促進をテーマにしている。

## ハートツリー ロイヤルHD

具体的にはレストラン「ロイヤルホスト」のメニューの敷紙（おすめメニュー「洋食小皿」が対象）に写真に間伐材の利用を促進する3・9ペーパーシステムで生産された紙を使用し、今月から全国277店舗で展開する。これは全国規模のレストランチェーンとしては初めての試みとなる。ロケット「キシリトールガム」では、この敷紙を広告媒体として活用し、その広告費が間伐材を有効活用するための資金として役立てられる。3・9ペーパーは国内の森林整備、間伐材の活用を促進することに貢献する紙で、間伐材を木材チップ工場に運ぶ運搬費が紙の販売価格に上乘せされる、森の整備および間伐材の製紙原料利用に貢献したことを第三者期間が検証・証明する仕組みとなっているなどの特長がある。